

<真剣味>73

2017. 5. 12

『今まで参加したことのない大会に参加する』～選手はよく頑張っている。～

<春季大会に臨むに当たって考えたこと>

○…達成、△…やや不足、×…努力が必要

○一つ目の勝利は、そう簡単ではない。最後まで諦めず、粘る。評価○

○腹をくくって、やってきたを淡々と!! 評価△

○心は熱く、頭は冷静に! 評価△

○3回のチャンスを生かす。 評価△

○投手は「結果を考え過ぎず」投げ込む。評価△

4月23日(日) 5対4 勝ち

対上越戦 やはりそんなに簡単には勝たせてもらえませんでした。特にバッテリーEによる失点が複数あり、うまく流れに乗れませんでした。ただ、1イニングでの複数失点がなかったことが選手の心を切らさず、まだいけるという気持ちにさせ、我慢して集中できていたように思われます。

- ・練習してきた走塁が、大事な時にうまく機能しなかった。
- ・何とか、全員で勝ち取った勝利。
- ・攻撃面ではB…8、E…3、打つばかりでなく、いろんな方法で塁に出ることができた。
- ・よくタイムリーヒット(6・7・9番)を打ってくれた。

5月3日(水) ①～準決勝～3対0 勝ち

対柏崎戦 昨年コールドで敗れている。左打者が半分以上いて、逆方向への打撃が素晴らしいチーム。よくバッテリーが抑えてくれた。

- ・守りでは連打されることなく、またB…2、E…1とまあまあ少なかった。
 - ・攻撃では3回に下位打線が作ったチャンスを、1番バッターがよくスクイズを決めてくれた。
- また、6回には上位打線でチャンスを作り、3番の2ランホームランに繋がった。

5月3日(水) ②～決勝～『今まで参加したことのない決勝に参加する。』①0対10 負け

対NGM戦 もともと守備が上手なチームが、スイングを繰り返すことで打てるようになったらしいです。ストレート、変化球と関係なく十分ポイントまで呼び込んで、迷いなくスイングしているように見えました。レベルが高いです。打球の速度、角度と全然違いました。また、守りも良く、試合を作れる安定した2人の投手が健在であった。

とても悔しいです。でもすごく勉強させられた試合でした。2人目の投手の育成、そして進化。

○ジャイアンツカップに挑む。『今まで参加したことのない大会に参加する。』②

5月6日(土) 新潟県代表決定戦 準決勝 対新潟ボーイズ 7対0 勝ち

3月の遠征で19試合をこなし、対戦したことのないチーム、また見たことのないチームと戦い、いかに短い時間で対応できるか、とてもよい勉強をさせられました。今回の対戦相手であるボーイズチームは初めてでどんなチームかも分かりません。そんな中で何かを感じながら試合を進めていきました。雨の中でボールは滑るし、バッターボックスもドロドロ、しかも中断もあり、そんな中で選手達はよく我慢強く試合を進めました。

5月7日(日) 新潟県代表決定戦 決勝 対NGM 2対7 負け

また、やられました。でもバッテリーはよく頑張りました。ただ相手の打球が速く、守備に乱れがあった。(3個) もっと走塁に磨きが必要。ただ練習した技術を一度成功させられた。

<信越大会に臨むに当たって> 5月13日(土)、14(日)

○対戦相手に関係なく、江南シニアらしく、腹をくくり・やってきたことを発揮する。

○心は熱く、頭は冷静に。最後まで粘り・諦めない。

○錆びない走塁をする。コンパクトスイングに心掛ける。